

## 巻頭言

## 巻頭言 第47回 日本作業療法学会 盛会のお礼

一般社団法人 大阪府作業療法士会 副会長 古志 康則  
(市立豊中病院)

暑さが続いていますが、会員のみなさまはいかがお過ごしでしょうか。体調に留意され、ご自愛ください。

さて、みなさまの記憶に十分残っていると思いますが、去る平成25年6月28日(金)、29日(土)、30日(日)の3日間、大阪国際会議場(グランキューブ大阪)にて、(一社)大阪府作業療法士会により第47回 日本作業療法学会を開催しました。

梅雨を忘れる程の好天を始め、あらゆる条件に恵まれたことにより、感謝と感動の学会を提供できたのではと、今でも余韻に浸っています。少し時間は経ちますが、この感激をどのように皆様にお伝えしたらよろしいでしょうか。文才乏しく、拙い表現となりますが、報告とお礼を述べさせていただきます。

学会開催が、大阪に決定したのは、3年前でした。まずは会場の確保が最優先で、規模からして必然的に今会場に決定となりました。しかし、稼働率すばらしく、三日間連続で確保できたのが、今回の日程となりました。

そこからが連帯の始まりでした。学会長は、我が大阪府作業療法士会会長と障壁無く選任されました。組織編成となると、やや難渋しましたが、府士会理事中心に快諾を得て、順次着任が決定していきました。センターが決まると、雪だるま式(夏には不似合いな言い方ですが)にスタッフの参加を得ることができました。出発時点より、皆様の作業療法に対する熱き思いが伝わってくるようでした。テーマもこれぞ大阪という「地域に暮らす」と比較的すんなりと決定し、当然ロゴマークも、「大阪てんこもり」で、俄然盛り上がりしました。

次に、プログラムの編成であります。これも、当然大阪を強調したいという会長の意向に沿った人選と内容の検討が行われました。人選については、やはり豊富あるいは色濃いいいまいしょうか、熱意ある役員快諾によりすんなりと決定しました。内容については、結果ご承知の如く、昼食の時間も特に設定せず、更にナイトセミナーまで組まれた、まさにてんこ盛りでした。これらを立案した役員といい、容認された会長といい、なんとすばらしい大阪府作業療法士会!ただこの基礎工事部分には、かなり徒労であったことを付け加えておきます。

骨格が出来上がりますと、後は外壁構築と内装に移りました。事務局・総務部・運営部等の実行力は、想像を超えるものがありました。信じられない細やかな配慮・企画力・即時処理とどれをとっても最高の布陣でした。会期近くに、運営スタッフの募集を行うと、ブラックホールに吸い込まれるが如く、予想を上回る会員のみなさまからの自主参加を多くいただき、感涙の至りとなりました。加えて、養成校の学生さんも、笑顔で参加していただくこともできました。この経験はきっと、将来作業療法実践に役立つと確信しております。

そんなこんなで、大阪府作業療法士という職能団体一丸で作り上げ、先にも述べましたが、天も味方して絶好の天候にて開会を迎えることができました。

開けてびっくり、初日より多くの方の参加をいただき、緊張感溢れる雰囲気で開催となりました。後は、参加されたみなさまは、肌で感じ取っていただけたでしょう。日増しに高まる充実感。2,800名収容のメインホー

ルにさえ溢れんばかりの参加者がありました。

各シンポジウム・演題発表・セミナーとどれをとっても機熟した討議がなされました。まさに全体の雰囲気作り上げた超空間であったように思われます。また、熱気満ち溢れた会場前に、一服の清涼剤の如く、大阪名物「飴ちゃん」をお渡し、和んでいただいたことや、機器展示およびポスター発表のフロアでは、スタンプラリーも行われ、好評を得ました。これもスタッフが考え出したもので、あちらこちらに大阪らしい「おもてなし」のこころを付け加えることができたと思っております。

加えて、少し欲張りすぎたくらいがありましたレセプションも、これはほとんどアイドルコンサート状態でした(立錫の余地も無いとはこのことでしょうか)。ご参加は500名超で、少々ご迷惑をおかけしたことをお詫びします。ただ最後に、日本作業療法士協会会長・副会長が、チャレンジのみなさまにより通天閣よりも高くリフティングされ、そこから日本全国へ、更に世界へと、作業療法を発信するが如くの象徴を示していたことに、感謝いたします。

緊張・熱烈・和み・笑いと学会が進行していき、最終の公開講座では、一般の方からの、切実な、心からのお声を頂戴することもできました。感涙を持ったのは、私だけでしてでしょうか。そのまま閉会式へと移ると、副会長も事務局長も感極まり、涙の閉会となりました。

なんとすばらしい出来事だったでしょうか。この場に居合わせることができた幸福感で満ち溢れました。

ただ、反省点も多々あります。特に、公開講座にもかかわらず、一般の方への配慮不足、ナイトセミナーにて、入場制限せざるを得ない状況になったこと等です。これは、真摯に受け止め、今後に生かさなければならぬと痛感しました。

最終参加者は、参加費支払い者で約5,300名、一般参加者で約1,200名の合計約6,500名でした。それに対し、スタッフ総計は650名のみなさまのご協力を得ました。

今回の企画に参加されたスタッフのみなさま、誰一人欠けていても、成し得なかった事業だったと思います。一人一人が主役でした。ありがとうございました。参加されたみなさま、および、叶わず不参加のみなさまも、立派な大阪府作業療法士会の一員です。大阪府作業療法士会全員で達成した偉業と思っております。何度繰り返しても尽きたら無いほどですが、ありがとうございました。

最後に、次年度開催のWFOT大会への後押しとなり、元気な大阪を世界に発信するきっかけになったと確信しております。

みなさま本当にありがとうございました。



閉会式



レセプション